

1 0 . 農 道 工
〔 記 入 例 〕

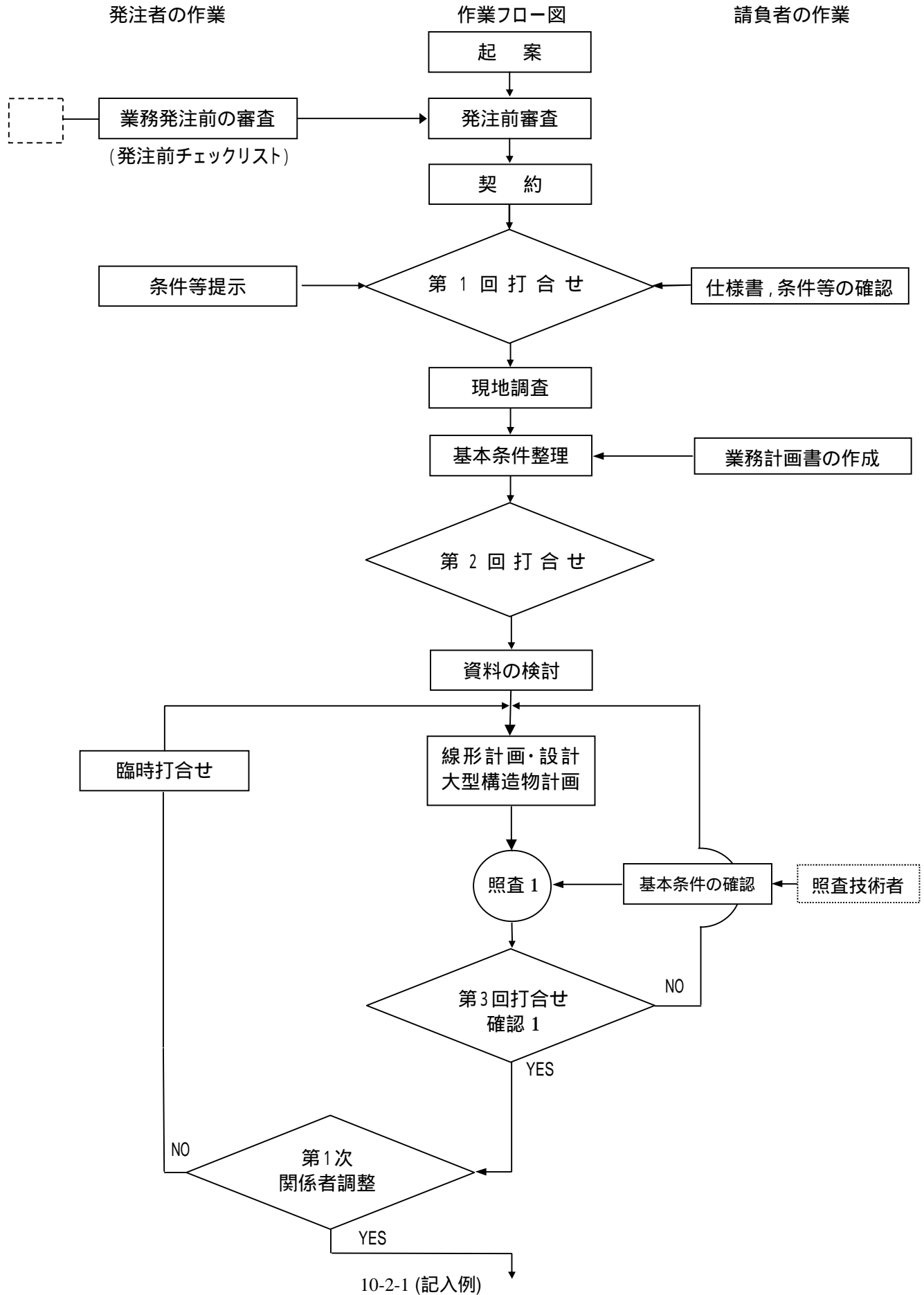
10-1 記入上の留意点

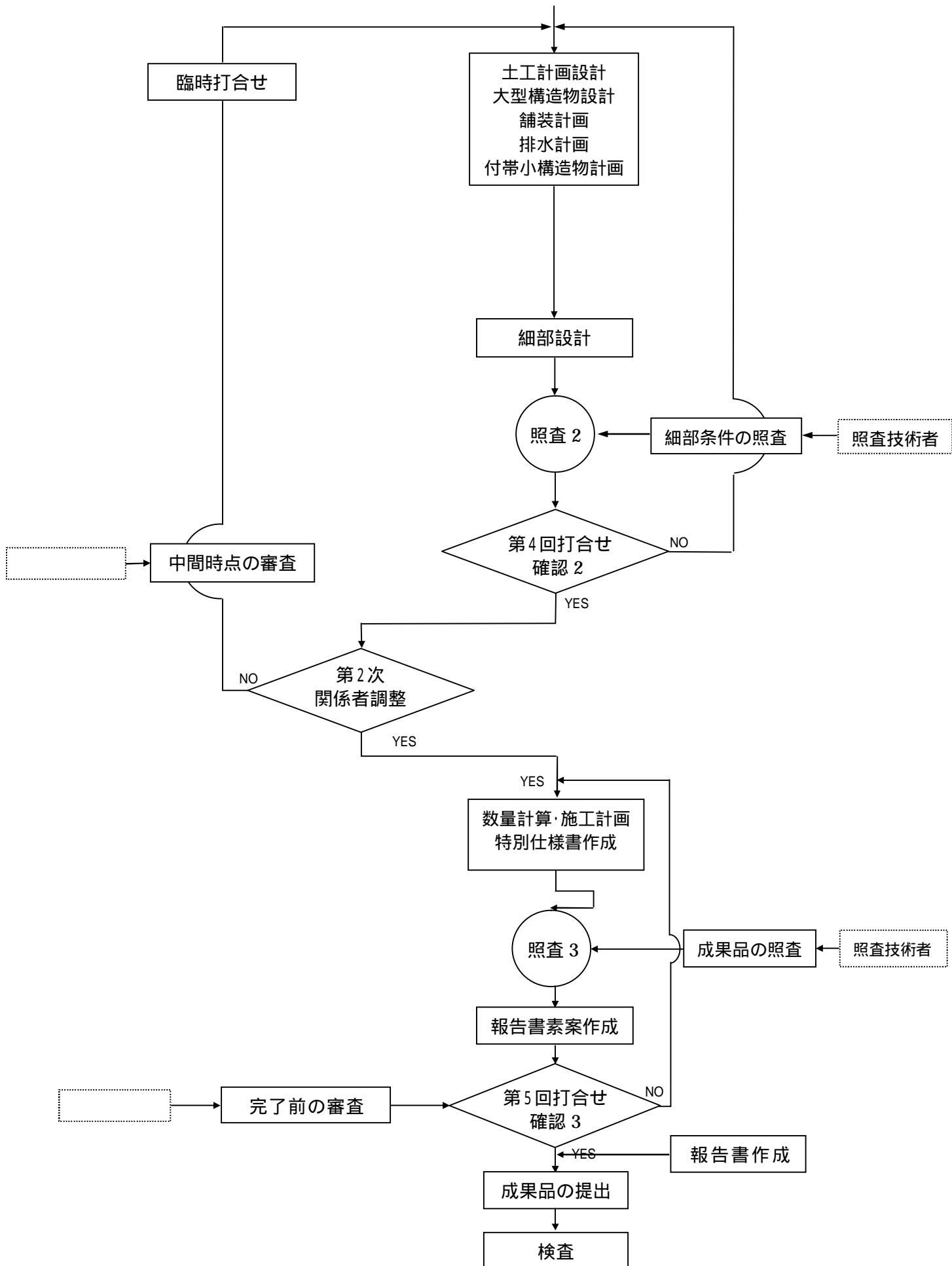
農道工の記入上の留意点

- (1) 表中に記載されている標準値もしくは基準値は細部条件により異なる場合があるため、十分確認の上使用してください。
- (2) チェックの方法は マークへの もしくは 及び 内への数値、文字の記入方式を主体としています。表現しきれない場合は、内容項目の空欄又は備考欄に記入してください。
- (3) 項目が不足する場合もしくは枠内で表現しきれない場合は特記事項の欄を使用して下さい。
- (4) 総括用で記入事項がない項目については、 又は を記入してください。
- (5) 道路本体の設計に主眼を置いているため、附帯構造物計画(防風除雪,防護工等)のチ設計内容(要点)記載表は、項目のみの記載としております。
- (6) 道路トンネルに関しては一式記載しておりません。
- (7) 大型構造物計画(橋梁,カルバート,擁壁)については別途該当照査の手引書を使用して下さい。
- (8) 照査断面や工区が複数になる場合は該当部分のシートを複製して使用してください。

10-2 照査のフローチャート

農道 実施設計照査フローチャート





10-2-2 (記入例)

10-3 総括表

農道工総括表

設計条件	道路規格：第3種 第4級		道路分類： 農免農道						
	設計速度：40 km/h		地域分類： 地方						
	日計画交通量：1109台/日		積雪寒冷地の区分： なし						
	大型車交通量：15台/日								
横断構成		車道		路肩		歩道		全幅m	
		片側m	車線数	左側	右側	左側	右側		
	土工	2.75	2	0.75	0.75	-	-		7.0
	橋梁	-	-	-	-	-	-	-	
幾何構造	最小曲線半径：60m		最小曲線長：70m			最小視距：40m			
	最小緩和曲線：35m		最急縦断勾配：6% (打合せによる)			最小縦断曲線長：35m			
	最小縦断曲線半径：凸450m		横断勾配：1.5%			片勾配最大値：6.0%			
	最大合成勾配：8.5%		片勾配のすり件率：1/159			登板車線の要否：否			
土工			盛土部			切土部			
	主たる地質		沖積土			土砂・軟岩			
	法面勾配通用基準		1:1.5(H<5m)			1:1.0 or 1.2			
	法面工の種類		種子吹付			土砂・種子吹付け 軟岩厚層基材吹付 軟岩			
	小段の幅員		なし			1.0・1.5m(小段排水)			
	小段の高さ		なし			7m			
	最大切盛高さ		1.5m			34m			
軟弱地盤対策，地すべり対策，防雪施設の要否，その他()									
舗装工	舗装の種類：アスファルト		交通区分：-1			設計CBR：4			
	舗装構成	区分	摩耗層	表層	基層	上層路盤	下層路盤	合計	
		材料		密粒アスエ	-	粒瀝砕石	再生フラッシュ		
		厚さ(cm)		4	-	12	15	31	
凍上抑制層の有無		無							
自転車歩行車道の舗装		材料：-			厚さ： cm				
排水工	降雨強度		タルボット式						
	流出係数		路面：0.8			林地：0.4			
	断面決定概要		側溝，横断工ともに3年確率雨量，余裕高20%						
主要概要	土工	切土量：260,845		法面積		盛土量：59,223		切土：22,943	
		盛土量：59,223				盛土：2,287			
	舗装面積	車道：8,677		横断函梁数		5箇所			
		歩道：-							
延長	土工	838m		橋梁	-	トンネル	-		
主要参考文献	名称							本文中の略称	
	道路構造令の解説と運用(日本道路協会)H16.2							構令	
	土地改良事業計画設計基準 設計「農道」基準書，技術書(農林水産省) H17.3							農道	
	道路土工 法面工・斜面安定工指針(日本道路協会)H11.3							法斜	
	道路土工 排水工指針(日本道路協会)S62.6							排水	
	道路土工 施工指針(日本道路協会)S61.11							施工	
道路土工 軟弱地盤対策工指針(日本道路協会)S61.11							軟弱		
舗装設計施工指針(日本道路協会)H13.12							舗指		
その他									

10-4 照 查 表

工 種	農 道 工
-----	-------

〔1〕基本条件の照査表

業 務 名	地区 工区測量設計業務
-------	-------------

発注者名	農業水利事務所	請負者名	
------	---------	------	--

確認の日付	平成 年 月 日	照査の日付	平成 年 月 日
-------	----------	-------	----------

確認担当者 氏名・印		照査技術者 氏名・印	
---------------	--	---------------	--

基本条件の照査表

工種：農道工

NO	項目	主な内容	提示資料	照 査		確 認		備 考	設計内容 (要点) 記載表
				該当像	確 認	該当像	確 認		
1	設計目的・主旨等	1)目的・趣旨を理解しているか	特別仕様書						1.1
		2)設計の範囲・数量及び主な作業項目とその精度・工程等について把握しているか	業務計画書						
2	設計基本条件	1)道路区分・計画交通量と機種・設計速度を把握しているか	特別仕様書						1.2
		2)対外協議事項と内容を把握しているか	設計打合せ記録						
		3)要求性能、設計期間、信頼性を把握しているか	特別仕様書						
3	貸与資料の確認	1)貸与資料の不足事項・追加事項があるか	貸与資料						1.3
		2)事業所・路線毎に統一された基準事項があるか							
4	現地調査結果	1)地形・地質(特殊土壌地帯)・土地利用等現地の状況を把握しているか	現地調査						1.4
		2)交通状況・河川状況を把握しているか	現場写真集						
		3)沿道の環境状況(史跡・埋蔵文化財・生態系保全・景観等の配慮図)を把握しているか							
		4)支障物件の状況を把握しているか (地下埋設物を含む)							
		5)主要構造物設置予定を把握しているか							
		6)用地の制限条件を確認しているか							
		7)工事用進入路として既設道路が利用可能か、その他施工時点の注意事項を把握しているか							
5	線形条件の設計	1)横断面の構成は適正か	設計打合書						1.5
		2)平面及び縦断線形の組み合わせは適正か							
		3)幾何構造の使用値は適正か							
		4)橋・トンネル坑口等の取合いを配慮しているか							

NO	項目	主な内容	提示資料	照 査		確 認		備 考	設計内容 (要点) 記載表
				該当対象	確 認	該当対象	確 認		
6	平面交差点	1) 交差道路の管理者及び公安委員会との事前協議事項(信号機・付加車線・横断歩道・隅切り等)は把握しているか	設計打合書						1.6
		2) 設計車両の選定及び軌跡・幅員は妥当か							
		3) 滞留長・テーパー長・摺り付け方法は妥当か							
		4) マーキング表示は妥当か							
7	大型構造物計画	1) 橋梁・トンネルの始点・終点の位置及び箱形涵渠等大型構造物の規模設置位置は妥当か	設計打合書						1.7
		2) 擁壁工等大型法面安定工の規模と設置位置は妥当か							
8	環境及び景観検討	1) 環境及び景観対策の具体的方法は適正か	設計打合書						1.8
9									

工種	農道工
----	-----

〔2〕細部条件の照査表

業務名	地区 工区測量設計業務
-----	-------------

発注者名	土地改良事務所	請負者名	
------	---------	------	--

確認の日付	平成 年 月 日	照査の日付	平成 年 月 日
-------	----------	-------	----------

確認担当者 氏名・印		照査技術者 氏名・印	
---------------	--	---------------	--

細部条件の照査表

工種：農道工

NO	項目	主な内容	提示資料	照査		確認		備考	設計内容 (要点) 記載表
				該当対象	確認	該当対象	確認		
1	協議関係	1)関係者協議による諸条件に適合しているか	設計打合書						2.1
2	土工計画設計	1)法面勾配等は適正か	設計打合書						2.2
		2)切盛土工の安定性検討箇所は適正か							
		3)基礎地盤の検討箇所は適正か							
		4)切土材料は盛土材料に流用できるか							
		5)切土断面の岩盤推定はされているか							
		6)法面保護工の選定は妥当か							
		7)軟弱地盤対策工の検討結果は適正か							
		8)土取場、建設発生土受入地の位置は妥当か							
3	大型構造物設計 3-1. 函渠工	1)本体長、伸縮目地の決定方法は適正か	設計打合書						2.3
		2)軟弱地盤上に構築される場合の鉛直荷重の取扱い は考慮してあるか (杭基礎の場合)							
		3)斜角のつく場合の考慮はしてあるか							
		4)基礎杭の選定は適正か							
		5)ハンチを付さない場合、その対策はしてあるか							
		6)ウイングの形式は適切か (適用土圧はどうか)							
		7)配筋に対するチェックはされているか							
3-2. 擁壁工		1)構造計算における諸条件の数値は適正か	設計打合書						
		2)擁壁高さの決定・地山の取合・底面の勾配は妥当か							
		3)目地間隔は妥当か							
		4)基礎工の選定は適正か							

NO	項目	主な内容	提示資料	照 査		確 認		備 考	設計内容 (要点) 記載表
				該当像	確 認	該当像	確 認		
	3 - 2 . 擁 壁 工	5)根入れ深さは妥当か (土質条件・水の影響)	設計打合書						2 . 3
		6)地下水・湧水等の処理について考慮してあるか							
		7)施工法を考えた構造となっているか							
		8)配筋に対するチェックはされているか							
4	舗 装 工	1) 舗装種別及び構造の適用(交通量・設計C B R)に問題はないか	設計打合書						2 . 4
		2)特殊箇所(軟弱地盤・低盛土等)の路床改良の要否							
		3)凍結深考慮の要否							
		4)要求性能に対して目標設定(性能指標)は妥当か							
		5)舗装の設計期間は妥当か							
		6)信頼性の設定は妥当か							
5	排 水 工	1) 流出量の算定は妥当か (集水域・流出係数・降雨強度・算定式)	設計打合書						2 . 5
		2)排水系統の設定及び通水量の算定は妥当か							
		3)施設選定は妥当か (パイプとボックス, P Cパイプ, ヒューム管, コルゲート管, 基礎形式の選定の適否)							
		4)断面決定に余裕が見込んであるか							
		5)最小土被りの設定は妥当か							
		6)流末はチェックされているか							
		7)現場打ちとプレキャストの使い分けは妥当か							
		8)既設水路等の付替えは, 必要に応じ切回しを検討してあるか							

NO	項目	主な内容	提示資料	照 査		確 認		備 考	設計内容 (要点) 記載表
				該当対象	確 認	該当対象	確 認		
6	附帯構造物計画	1)待避所の長さ・拡幅量は適正か	設計打合書						2.6 2.7
		2)交通安全施設の配置及び規格は妥当か							
		3)落石防護工の設置の適否							
		4)防風・防雪施設の設置の適否及びその規格は妥当か							
		5)標準設計の適用方法は適正か							
		6)重力式擁壁・ブロック積等の形式・高さ等は妥当か							

工 種	農 道 工
-----	-------

〔3〕 成果品の照査表

業 務 名	地区 工区測量設計業務
-------	-------------

発注者名	土地改良事務所	請負者名	
------	---------	------	--

確認の日付	平成 年 月 日	照査の日付	平成 年 月 日
-------	----------	-------	----------

確認担当者 氏名・印		照査技術者 氏名・印	
---------------	--	---------------	--

成 果 品 の 照 査 表

工種：農 道 工

NO	項 目	主 な 内 容	提示資料	照 査		確 認		備 考	設計内容 (要点) 記載表
				該当像	確 認	該当像	確 認		
1	設 計 計 算 書	1)打合わせ事項は反映されているか	報告書						3.1
		2)安定計算結果は許容値を満たしているか							
		3)各種条件の取り方は正しいか							
2	詳 細 設 計	1)規格は特別仕様書と整合しているか	報告書 (設計図)						3.2
		2)打合わせ事項は反映されているか							
		3)構造計算と整合しているか							
3	数 量 計 算	1)数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか (有効数値・位取り単位・区分等)	報告書						3.3
		2)数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか							
		3)数量取りまとめは、打合せの種類・材料毎に行っているか							
4	施 工 計 画 ・ 特 別 仕 様 書	1)施工時の道路・河川等の切回し計画は妥当か	報告書						3.4
		2)工事用道路・搬入路計画は妥当か							
		3)施工ヤード・施工スペースを確保しているか							
		4)工事特別仕様書の内容は適切か							
5	設 計 報 告 書	1)報告書の構成は、設計業務報告書標準様式(案)に準拠しているか							3.5
		2)計算に使用した計算式、数値及び引用した文献等の出典及び根拠は明確になっているか							
		3)計算過程が理解しやすいようになっているか							
6	コスト縮減対策	施設の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果が整理されているか。	報告書						

10-5 設計内容（要点）記載表

設計内容(要点)記載表 1.1 (設計目的・主旨等)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
設 計 区 分		構想設計, 基本設計, 実施設計		
設 計 区 間	始点～終点	No. <input type="text" value="0"/> ~ No. <input type="text" value="8+38.2"/> L= <input type="text" value="838.2"/> m		
仕 様 書 作 業 項 目	現地調査	有, 無		
	資料の検討	有, 無		
	線形計画・設計基本方針	有, 無		
	平面計画	有, 無		
	縦横断計画	有, 無		
	構造物計画	有, 無		
	交差点計画	有, 無		
	縦平面図作成	有, 無		
	横断面設計図作成	有, 無		
	土積図作成	有, 無		
	土量配分計画	有, 無		
	舗装計画・設計図作成	有, 無		
	附帯構造物設計図作成	有, 無		
	排水計画, 設計	有, 無		
	土工, 法面工数量計算	有, 無		
	附帯構造物数量計算	有, 無		
	仮設計画	有, 無		
	施工計画	有, 無		
	概算工事費積算	有, 無		
特別仕様書作成	有, 無			
点検照査とりまとめ	有, 無			
その他	有, 無			
大 型 構 造 物	道路トンネル工	有, 無		
	橋梁工	有, 無		
	暗渠工	有, 無		
	擁壁工	有, 無		
	その他	有, 無		

設計内容(要点)記載表 1.2 (設計基本条件 1/2)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
適用設計基準	構令(略称)	要, 不 道路構造令の解説と運用(日本道路協会)H16.2		
	農道(略称)	要, 不 土地改良事業計画設計基準 設計「農道」基準書, 技術書 (農林水産省)H17.3		
	法斜(略称)	要, 不 道路土工 法面工・斜面安定工指針(日本道路協会)H11.3		
	擁壁(略称)	要, 不 道路土工 擁壁工指針(日本道路協会)H11.3		
	カル(略称)	要, 不 道路土工 カルバート工指針(日本道路協会)H11.3		
	仮設(略称)	要, 不 道路土工 仮設構造物工指針(日本道路協会)H11.3		
	排水(略称)	要, 不 道路土工 排水工指針(日本道路協会)S62.6		
	施工(略称)	要, 不 道路土工 施工指針(日本道路協会)S61.11		
	軟弱(略称)	要, 不 道路土工 軟弱地盤対策工指針(日本道路協会)S61.11		
	舗指(略称)	要, 不 舗装設計施工指針(日本道路協会)H13.12		
	落石(略称)	要, 不 落石対策便覧(日本道路協会)H12.6		
	防柵(略称)	要, 不 防護柵の設置基準・同解説(日本道路協会)H16.3		
	照明(略称)	要, 不 道路照明施設設置基準・同解説(日本道路協会)S56.4		
	視線(略称)	要, 不 視線誘導標設置基準・同解説(日本道路協会)S59.10		
	反射(略称)	要, 不 道路反射鏡設置指針・同解説(日本道路協会)S55.12		
	標識(略称)	要, 不 道路標識設置基準・同解説(日本道路協会)S62.1		
	緑化(略称)	要, 不 道路緑化技術基準・同解説(日本道路協会)S63.12		
	立体(略称)	要, 不 立体横断施設技術基準・同解説(日本道路協会)S54.1		
	林道必携	要, 不 林道必携(日本林道協会)H14.5		
	設計便覧等	要, 不 設計便覧(案)道路編(国土交通省各地方整備局)		
県市町村の設計基準	要, 不			
その他	要, 不			

設計内容(要点)記載表 1.2 (設計基本条件 2/2)

検討項目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
適用設計図面	土木構造物標準設計	要, 不 国土交通省制定 土木構造物標準設計 (全日本建技協)		
	土木工事標準設計図集	要, 不 土木工事標準設計図集 (国土交通省各地方整備局)		
	県市町村の標準設計図集	要, 不		
	その他	要, 不		
基本条件	道路区分	第 <input type="text" value="3"/> 種 第 1 級 第 2 級 第 3 級 第 4 級 第 5 級		
	日計画交通量/大型車交通量	<input type="text" value="1109"/> 台/日 / <input type="text" value="15"/> 台/日		
	設計速度	V = 50 40 30 20 km/hr		
	積雪寒冷地の考慮	有, 無		
	その他	有, 無		
事前及び今後の対外協議事項の有無と内容	協議対象 (道路)	事前, 今後, : 内容, 県道との交差点協議		
	協議対象 (地元・地権者)	事前, 今後, : 内容, 境界の確定, 道路用地の確定		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
	協議対象 ()	事前, 今後, : 内容,		
主な協議対策	道路 (国道・県道, 市町村道, 農道, 林道), 河川 (建設省, 県, 市町村) 上下水道, ガス, 電力, 電話 保安林, 砂防指定及び埋蔵文化財等 地元及び地権者			

設計内容(要点)記載表 1.3 (貸与資料の確認)

検討項目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
貸与資料	貸与資料 (地質調査資料)	内容.平成8年度 地区 工区地質調査業務		
	貸与資料 (基本設計書)	内容.平成7年度 道路調査設計業務		
	貸与資料 ()	内容.		
	貸与資料 ()	内容.		
	貸与資料 ()	内容.		
	請求資料 ()	内容.		
	請求資料 ()	内容.		
	請求資料 ()	内容.		
事業所単独の 基準要領の確認	事業所単独の基準等	有, 無		
	路線毎の統一基準	有, 無		
	既存設計資料	有, 無 近隣工区実施設計資料		
	その他	有, 無		
貸与資料例	地形図, 平面・縦横断面図 用地関係資料 地質調査資料 気象水文資料 地下埋設物資料 事業計画書 基本設計書 他機関協議資料 道路周辺関連事業資料			

設計内容(要点)記載表 1.4 (現地調査結果 1/2)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
現地状況の把握	平面図と現地形の整合の確認	未, 完		
	地質状況の確認	未, 完 (既存資料 有, 無) 貸与資料に記載		
	特殊土壌地帯の確認	未, 完 無		
	土地利用状況の確認	未, 完 平面図に利用状況を記入する		
	用・排水状況の確認	未, 完 既設水路の機能復旧の必要有り, 流水方向, 断面確認		
	現地写真撮影	未, 完 路線計画位置及び取付道路, 支障物件等, 航空写真を含む		
	その他	未, 完		
交通状況・道路状況・河川状況の把握	接続道路の状況確認	未, 完 道路規格, 交通量等基本条件確認		
	関連道路改修計画	有, 無		
	関連河川改修計画	有, 無		
	その他	有, 無		
沿道の環境条件の把握	史跡・埋蔵文化財	有, 無 指定文化財及びこれに類するものの存在の確認済み		
	生態系保全条件	有, 無 指定なし		
	景観保護条件	有, 無 //		
	日照・騒音, 振動等	有, 無 //		
	その他	有, 無		
支障物件の把握	地上物件の把握	有, 無 電柱及び架空線, 建物		
	地下埋設物件の把握	有, 無 上水道, NTT		
	その他	有, 無		
主要構造物予定地点の把握	詳細地形図の確認	有, 無		
	地質資料の確認	有, 無		
	関連主要施設の確認	有, 無 河川・道路・鉄道・排水路・その他()		
	その他	有, 無		

設計内容(要点)記載表 1.4 (現地調査結果 2/2)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
用地の制限条件	用地上の問題箇所の確認	有, 無 No. <input type="text" value="5"/> 付近 溜池		
	立ち入り制限の確認	有, 無 No. <input type="text"/> 付近		
	その他	有, 無		
施工時点の 注意事項	工事中進入道路	有, 無 No. <input type="text" value="8+40"/> 付近 県道より進入		
	進入道路通行制限	有, 無		
	既設道路の機能確保	有, 無 基本的に現道拡幅なので機能確保が必要である		
	施工時借地制限	有, 無 借地上の問題は特になし		
	仮廻し水路	有, 無 現況用排水路の機能確保が必要である		
	その他	有, 無		
特記事項				

設計内容(要点)記載表 1.5 (線形条件の設計 1/2)

検討項目		内容					備考	照査
内容	詳細	標準値等	採用値	採用理由	出典根拠	報告書記載頁		
一般部幅員構成	車道幅員	5.5 m	車線= 5.5 m	標準値とおり	構令 P-185, 表 2-2 農道 P-186, 表-3.4.1	P.11		
	歩道幅員 該当なし	m	左側 m + 右側 m = m		構令 P-227 ~ 239 農道 P-194	-		
	路肩幅員	片側 0.75 m	左側 0.75 m + 右側 0.75 m = 1.5 m	標準値とおり	構令 P-203 ~ 212 農道 P-187, 表-3.4.3	P.11		
	保護路肩幅員	片側 0.5 m	左側 0.5 m + 右側 0.5 m = 1.0 m	〃		P.11		
	全幅		7.0 m			P.11		
立体線形の確認	縦平面変曲点の不整合		有, 無 IP. , IP. , IP. , IP.		構令 P-294 ~ P-308	P.27		
	各曲線長の不均衡		有, 無 平面曲線長 縦断曲線長(近いほうが望ましい)		構令 P-294 ~ P-308	P.27		
	その他曲線の不良組合せ		有, 無 内容.		構令 P-294 ~ P-308	P.27		
	その他		有, 無					
幾何構造条件	平面曲線形		単曲線 クロソイド曲線			P.27		
	最小曲線半径	60 m	R= 60 m	標準値とおり	構令 P-309 農道 P-202, 表-3.6.1	P.28		
	最小曲線長	70 m - m	< 7° L= 70 m 7° L= 70 m	〃	構令 P-321 農道 P-203, 表-3.6.2	P.29		
	最小視距	40 m	L= 40 m	〃	構令 P-379 ~ 391 農道 P-209	P.30		
	最小緩和区間長	35 m	L= 35 m	〃	構令 P-350 ~ 365 農道 P-205, 表-3.6.4	P.29		
	緩和曲線の最小パラメータ				構令 P-359, 表 3-20	-		
	最大縦断勾配	7.0 %	I= 7.0 %		構令 P-391 ~ 411 農道 P-212 表-3.6.12	P.30		
	同上制限長(延長)	- m	L= - m		構令 P-400 ~ 401 農道 P-212, 表-3.6.13	-		
	縦断曲線の長さ	35 m	L= 35 m	標準値とおり	構令 P-419 農道 P-213, 表-3.6.15	P.30		
	縦断曲線の半径	凹曲線 700 m 凸曲線 700 m	凹=700m 凸=700m	〃	構令 P-418 農道 P-213, 表-3.6.14	P.30		

設計内容(要点)記載表 1.5 (線形条件の設計 2/2)

検討項目		内 容					備 考	照 査
内 容	詳 細	標準値等	採 用 値	採 用 理 由	出 典 根 拠	報告書 記載頁		
幾何構造条件	横断勾配	1.5 %	$l = 1.5 \%$	〃	構令 P-432, 表 3-53 農道 P-210, 表-3.6.11	P.31		
	曲線部の最大片勾配	10.0 %	$l = 10.0 \%$	〃	構令 P-326 農道 P-223, 表-3.6.6	P.29		
	曲線部の拡幅量	0.50 m	$B = 0.50 \text{ m}$ (1車線当り) $R = 60\text{m}$	標準値とおり	構令 P-341 ~ 342 農道 P-204, 表-3.6.3	P.28		
	合成勾配	11.5 %	$l = 8.5 \%$	〃	構令 P-436 農道 P-214, 表-3.6.16	P.28		
	片勾配のすり付率	1/100	$l = 1/160$	〃	構令 P-365 ~ 366 農道 P-206, 表-3.6.9	P.29		
	その他							
橋・トンネル等への取合い	平面線形上の問題	有, 無						
	縦断線形上の問題	有, 無						
	その他	有, 無						

設計内容(要点)記載表 1.6 (平面交差点 1/2)

検 討 項 目		内 容	出 典 根 拠	報 告 書 記 載 頁	備 考	照 査	
内 容	詳 細						
道路協議	道路法 9 5 条の 2 協議	有, 無 (都道府県公安委員会との調整)					
設計条件	道路規格	主道路 第 <input type="text" value="3"/> 種第 <input type="text" value="4"/> 級 従道路 第 <input type="text" value="3"/> 種第 <input type="text" value="4"/> 級					
	地域	地方部 都市部					
	交通制御方法	一時停止 信号制御					
	設計速度	主道路 V = <input type="text" value="40"/> km/hr 従道路 V = <input type="text" value="40"/> km/hr					
	設計車両	セミトレーラ 普通自動車 小型自動車 その他 ()					
	枝数	<input type="text" value="3"/> (例, 3 4)					
	付加車線	有 無					
	横断歩道	有 無					
幾何構造	交差角	<input type="text" value="80"/> °	構令 P-448	P.54			
	車線数	2	構令 P-464	P.54			
	車線幅員	主道路 直線車線 <input type="text" value="2.75"/> m	標準値 (<input type="text" value="2.75"/> m)	構令 P-463	P.54		
		付加車線 <input type="text" value="-"/> m	標準値 (<input type="text" value="-"/> m)				
		従道路 直線車線 <input type="text" value="2.75"/> m	標準値 (<input type="text" value="2.75"/> m)				
		付加車線 <input type="text" value="2.25"/> m	標準値 (<input type="text" value="2.25"/> m)				
	シフト長・車線長	主道路 本線シフト <input type="text" value=""/> m	標準値 (<input type="text" value=""/> m)	構令 P-464 ~ P-472	P.55		
		(<input type="text" value=""/> 折) テーパー長 <input type="text" value=""/> m	標準値 (<input type="text" value=""/> m)				
滞留長 <input type="text" value=""/> m		標準値 (<input type="text" value=""/> m)					
(<input type="text" value=""/> 折) テーパー長 <input type="text" value=""/> m		標準値 (<input type="text" value=""/> m)					
滞留長 <input type="text" value=""/> m		標準値 (<input type="text" value=""/> m)					
従道路 本線シフト <input type="text" value="-"/> m		標準値 (<input type="text" value="-"/> m)					
(<input type="text" value="左"/> 折) テーパー長 <input type="text" value="18.3"/> m		標準値 (<input type="text" value="18.3"/> m)					
滞留長 <input type="text" value="30"/> m		標準値 (<input type="text" value="30"/> m)					
(<input type="text" value=""/> 折) テーパー長 <input type="text" value=""/> m	標準値 (<input type="text" value=""/> m)						
滞留長 <input type="text" value=""/> m	標準値 (<input type="text" value=""/> m)						
最小視認距離	信号制御 <input type="text" value=""/> m	標準値 (<input type="text" value=""/> m)	構令 P-456	P.55			
	一時停止制御 <input type="text" value="100"/> m 直線距離	標準値 (<input type="text" value="55"/> m)					

設計内容(要点)記載表 1.6 (平面交差点 2/2)

検討項目		内 容	出典根拠	報告書 記載頁	備 考	照 査
内 容	詳 細					
	曲線半径	主道路 <input type="text" value="100"/> m 平面図より 標準値 (<input type="text" value="60"/> m) 従道路 <input type="text" value="直線"/> m 標準値 (<input type="text" value="30"/> m)	構令 P-459	P.57		
	縦断勾配及び緩勾配区間長	主道路 I = <input type="text" value="0.9"/> % 平面図より 標準値 (<input type="text" value="2.5"/> %以下) L = <input type="text" value="不明"/> m 標準値 (<input type="text" value="15"/> m) 従道路 I = <input type="text" value="2.5"/> % 標準値 (<input type="text" value="2.5"/> %以下) L = <input type="text" value="20.7"/> m 標準値 (<input type="text" value="15"/> m)	構令 P-460	P.57		
	導流路 該当なし	外側半径 <input type="text"/> m 幅員 <input type="text"/> m 標準値 (<input type="text"/> m) <input type="text"/> m 幅員 <input type="text"/> m 標準値 (<input type="text"/> m) <input type="text"/> m 幅員 <input type="text"/> m 標準値 (<input type="text"/> m) <input type="text"/> m 幅員 <input type="text"/> m 標準値 (<input type="text"/> m)	構令 P-474 ~ P-476			
	交差点内部での路肩幅	0.50m以上確保しているか 有, 無	構造 P-483	P.58		
	隅切りの大きさ	設計基準農道より決定 軌跡により決定 その他 (特記事項に記載)		P.58		
	区画線・マーキング	公安委員会の了承 有, 無		-		
特記事項 官側との協議により決定 R = 12.0m						

設計内容(要点)記載表 1.7 (大型構造物計画)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
橋梁 該当なし	橋梁設置の妥当性	有, 無		
	橋台・橋脚位置の課題	有, 無		
	施設規模, 工法の妥当性	有, 無	他は別途該当の照査手引書より実施	
トンネル 該当なし	トンネル設置の妥当性	有, 無		
	坑口位置の問題	有, 無		
	施設規模, 工法の妥当性	有, 無	他は別途該当の照査手引書により実施	
カルバート 該当なし	横断的取合いの問題	有, 無		
	縦断的取合いの問題	有, 無		
	施設規模, 工法の妥当性	有, 無	他は別途該当の照査手引書により実施	
擁壁 該当なし	設置の妥当性	有, 無		
	横断的取合いの問題	有, 無		
	縦断的取合いの問題	有, 無		
	施設規模, 工法の妥当性	有, 無	他は別途該当の照査手引書により実施	
大型法面工 (アンカー付法枠工等) 該当なし	設置の妥当性	有, 無		
	選定工法の妥当性	有, 無	工法: <input type="text"/> 選定基準等:()	
特記事項				

設計内容(要点)記載表 1.8 (環境及び景観検討)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
周辺環境	生態系への配慮	有, 無 特別な配慮は必要無し		
	埋蔵文化材への配慮	有, 無 該当無し		
	景観保護条例等の配慮	有, 無 〃		
	国立・国定・県立公園等	有, 無 〃		
	騒音対策	有, 無 〃		
	ミティゲーション5原則	有, 無 〃	農道 P-123	
景観対策	構造物への配慮	有, 無 該当無し		
	植栽計画の有無	有, 無 〃		
	法面への配慮	有, 無 〃		
特記事項				

設計内容(要点)記載表 2.1 (協議関係)

検 討 項 目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
協議 該当なし	協議対象 ()	未 完 機関名:		
	協議対象 ()	未 完 機関名:		
	協議対象 ()	未 完 機関名:		
	協議対象 ()	未 完 機関名:		
特記事項 業務においては協議資料のみ作成，協議は発注者に対応				

検討項目		内容		出典根拠	報告書 記載頁	備考	査照	
内容	詳細							
切土法面勾配	切土勾配決定根拠		安定解析 標準勾配		法斜 P.138,表 3-1 農道 P243 表 5.2.1	P.68		
	安定解析	単位体積重量	t	-				KN/m ³
		内部摩擦角		-				°
		粘着力	C	-				KN/m ²
		解析箇所は適正か		Y				N
	標準勾配	地山の土質 1		硬岩 軟岩 砂 砂質土 砂利または岩塊混じりの砂質土 粘性土 岩塊または玉石混じりの粘性土		法斜 P138 表 3-1 農道 P243, 表 5.2.1	P.66	
		地山の土質 2		密実でない粒度分布の悪いもの 密実なもの 密実でないもの 密実なもの又は粒度分布のよいもの 密実でないもの又は粒度分布の悪いもの 特になし				
		切土高		7.0 m				
		採用勾配		1 : 1.2 基準値 1.0 ~ 1.2				
		小段幅		1~1.5 m 基準値 1.0 ~ 2.0 m				
盛土法面勾配	盛土勾配決定根拠		安定解析 標準勾配		法斜 P161,表 3-4 農道 P246 表 5.3.1	P.65		
	安定解析	単位体積重量	t	-				KN/m ³
		内部摩擦角		-				°
		粘着力	C	-				KN/m ²
		解析箇所は適正か		Y				N
	計算手法		全応力法 有効応力法		農道 P246 ~ P248			
	安全率 Fs		常時 - 1.2 地震時 - 1.0		法斜 P166			
	標準勾配	盛土材料		粒度のよい砂(S), 礫及び細粒分混じり礫(G) 粒度の悪い砂(SG) 岩塊(ずりを含む) 砂質土(SF), 硬い粘土質, 硬い粘土 火山灰質粘性土(V)		法斜 P161,表 3-4 農道 P246,表 5.3.1	P.67	
		盛土高		5 m未滿				
		採用勾配		1 : 1.5 基準値 1:1.5 ~ 1.8				
小段幅		- m 基準値 1.0 ~ 2.0 m		農道 P248				

設計内容(要点)記載表 2.2 (土工計画設計 2/3)

検 討 項 目		内 容	出 典 根 拠	報 告 書 記 載 頁	備 考	照 査	
内 容	詳 細						
基礎地盤	湧水があるか	Y N					
	湧水(地下水)対策工 をしているか	Y N 工法:()					
	高盛土部の検討が必要か	Y N					
	軟弱地盤の検討が必要か	Y N		P.95			
	軟弱地盤対策の種類	沈下対策 安定対策 地震時対策(液状化対策)	軟弱 P-89~P93 表 4-1,表 4-2 農道 P240~241, 表 4.3.1,表 4.3.2	P.95			
	軟弱地盤対策の工法	工法 (置き換え)		P.95			
	決定根拠	経済性 施工性 安全性		P.96			
土工計画	切盛バランスが適正か	Y N 切土量: 260,845.3 m ³ 盛土量: 59,223.4 m ³		P.92			
	バランスしない理由	理由:(縦断勾配を6%に制限されたため)		P.93			
	不足の場合	土取場の必要性	有 無	施工 P230, -8			
		土取場計画	有 無				
		位置の適正	Y N 運土距離: [] km				
		材料の適否	適 否 (材料試験の有無)				
	残土の場合	建設発生土受入地の 必要性	有 無				
		建設発生土受入地計 画	有 無				
		位置の適正	Y N 運土距離: 10.0 km				
	切土流用材の試験	有 無					
	他の判断材料	有 無 内容:()					
	岩盤推定線の記入	有 無					
岩質区分	有 無 (硬岩, 中硬岩, 軟, 軟)						

設計内容(要点)記載表 2.2 (土工計画設計 3/3)

検討項目		内 容	出典根拠	報告書 記載頁	備 考	照 査
内 容	詳 細					
法面工法	切土 法面	特殊土壌地帯か	Y N	法斜 P205 ~ P217	P.68	
		保護工の必要性	有 無 理由:()	農道 P249 ~ P263		
		工法検討	有 無			
	採用工法	工法:(厚層基材吹付(軟岩), 種子吹付(土砂部))				
	盛土 法面	保護工の必要性	有 無			
		工法検討	有 無			
		採用工法	工法:(種子吹付)			
特記事項						

設計内容(要点)記載表 2.3 (大型構造物設計)

検討項目		内 容	出典根拠	報告書 記載頁	備 考	照 査
内 容	詳 細					
ボックスカルバート工		該当する照査手引書により実施				
該当なし						
擁壁工	"	該当する照査手引書により実施				
その他	"	該当する照査手引書により実施				

設計内容(要点)記載表 2.4 (舗装工)

検討項目		内 容					出典根拠	報告書 記載頁	備考	照査
内 容	詳 細									
交通量区分	大型車両台数	15	台/日							
	採用種別	なし, I - 1, I - 2, , , 基準値: I - 2					農道 P288 ,表 6.2.3	P.60		
アスファルト舗装		L, A, B, C, D 基準値:								
	信頼性	50%	75%	90%			農道 P289	P.60		
	舗装の性能指標	(報告書に記載)					農道 P289 ~ P291	P.61		
	舗装の設計期間	(")					農道 P286 ~ P287	P.61		
	設計 C B R	2, 3, 4, 6, 8, 12, 20, その他 ()						P.60		
	舗装区分	摩耗層	表層	基層	上層路盤	下層路盤				
	厚さ (c m)	-	4	-	12	15		P.62		
	舗装材料	-	密粒度アスコン	-	粒調碎石	クラシャーラン				
	合計厚さ	31 cm 基準値: - cm						P.63		
	換算厚さ (T _A)	12 cm 基準値: 12 cm					農道 P316 ~ P321	P.63		
再生材の使用	工法 () 舗装厚 () cm									
コンクリート舗装 該当なし	設計 C B R	2, 3, 4, 6, 8, 12, 20, その他 ()					農道 P335 ~ P340			
	舗装構成	コンクリート版 () cm, 上層路盤 () cm, 下層路盤 () cm								
	舗装材料	コンクリート版 (), 上層路盤 (), 下層路盤 ()								
路床	区間の C B R	0.4 (%)					農道 P301 ~ P307	P.60		
	改良の必要	有, 無								
	改良・工法	置換, 安定処理, その他								
	改良厚さ	65 cm								
	改良後の設計 C B R	4.3 (%) > 目標設計 C B R 4 (%)								
凍上防止対策	凍上発生	有, 無					農道 P394 ~ P398			
	定数 C	C = () 土質: ()								
	凍結深	凍結厚さ t = () cm () > 舗装厚さ t = () cm								
	凍上対策の必要性	有, 無								
	対策工法	内容: () 厚さ: () cm								
特記事項										

設計内容(要点)記載表 2.5 (排水工)

検討項目		内 容	出典根拠	報告書記載頁	備 考	照 査	
内 容	詳 細						
流出量	集水区域	集水面積 A = <input type="text" value="23.9"/> ha 区分:()	排水 P-19, -8	P.79	区分は流域面積の内訳記入		
	流出係数	荷重平均値 f = <input type="text" value="0.7"/> 区分:()	農道 P370 ~ 371, -表 7.2.2 ~ 7.2.4				
	流域特性係数	荷重平均値 C = <input type="text" value="280.5"/>					
	側溝	降雨強度	<input type="text"/> mm/hr 基準値 <input type="text"/> mm/hr 横断工に同じ	排水 P12, -19 農道 P364 ~ P369			
		洪水到達時間	<input type="text"/> min 基準値 <input type="text"/> min 横断工に同じ	排水 P21, -3 農道 P371 ~ P376			
	横断工	確率年	3, 5, 7, 10, 30 (官側との協議による)		P.78		
		降雨強度式	$I = 4050 / (t + 35)$	農道 P364 ~ P369	P.79		
洪水到達時間算定式		角屋・福島式 流入のみ ルチハ式, カーベイ式, 経験値 流下のみ マニング式, クラーヘン式, 概略値	農道 P371 ~ P376	P.79			
排水系統	流末水路確認	未 完					
	逆勾配区間	有 無 理由 :()					
	横断工位置	適 否		P.80			
通水量算定	側溝	断面余裕	有 無 : <input type="text" value="20"/> % (cm)	排水 P32, -14 農道 P380	P.80		
		許容平均流速	<input type="text"/> m/sec 基準値 <input type="text"/> m/sec 官側での協議により設定しない	排水 P32, 表 2-9			
		最小勾配	<input type="text" value="2.5"/> % 基準値 <input type="text" value="0.3"/> ~ <input type="text" value="0.5"/> %	構令 P411, -13	P.80		
	横断工	断面余裕	有 無 : <input type="text" value="20"/> % (cm)		P.80		
		許容平均流速	<input type="text" value="3.5"/> m/sec 基準値 <input type="text" value="3.75"/> m/sec		P.80		
特記事項							

設計内容(要点)記載表 2.6 (付帯構造物計画)

検討項目		内 容	出典根拠	報告書 記載頁	備 考	照 査
内 容	詳 細					
待避所 該当なし	待避所の間隔	L = <input type="text"/> m 基準値(300m) 以下	構令 P605			
	待避所の長さ	L = <input type="text"/> m 基準値(20m) 以上				
	待避所のデーパー部	a = <input type="text"/> m b = <input type="text"/> m 基準値(b 2 a) 以上				
安全施設	安全施設の配置適否	適 否	構令 P606	P.100		
	安全施設の規格	規格： <i>ガードレール GR-C-4E</i>				
安全施設 該当なし	安全施設の配置適否	適 否				
	安全施設の規格	規格：				
安全施設 該当なし	安全施設の配置適否	適 否				
	安全施設の規格	規格：				
落石防護施設 該当なし	落石防護施設の配置適否	適 否	構令 P650			
	落石防護施設の規格	規格：				
落石防護施設 該当なし	落石防護施設の配置適否	適 否				
	落石防護施設の規格	規格：				
防風雪施設 該当なし	防風雪施設の設置適否	適 否	構令 P646			
	防風雪施設の規格	規格：				
地すべり対策施設 該当なし	標準設計の適用適否	適 否				
	地すべり対策施設の規格	規格：				
特記事項						

設計内容(要点)記載表 2.7 (小型擁壁工)

注) 多数の検討擁壁工が発生する場合は本シートを複製して使用すること。

検討項目		内 容	出 典 根 拠	報告書 記載頁	備 考	照 査
内 容	詳 細					
小型擁壁工	擁壁の型式	型式(重力式, もたれ式, ブロック式, L型)		P.111		
	擁壁の選定の適否	適 否 壁高 <input type="text" value="5"/> m 切土:ブロック積,		P.111	盛土 同式との 経済比較	
	擁壁高さとなり勾配の関係 は適正か	適 否 高さ <input type="text" value="5"/> m ,前壁法勾配(1 : <input type="text" value="0.5"/>)後壁法勾配(1 : <input type="text"/>)		P.112		
	ブロック積の裏コン厚さ は適正か	適 否 t = 0 , 10 , 15 , 20		P.112		
	L型擁壁規格選定は適正か	適 否		P.112		
	スパン割は適正か	適 否 L = <input type="text" value="10"/> m				
	根入れは適正か	適 否		P.112		
特記事項						

検 討 項 目		内 容		備 考	照 査
内 容	詳 細	報告書の該当ページ			
設計の基本条件 ()	設計範囲と作業項目	2			
	貸与資料				
排水検討 1 (側溝・横断工)	設計条件	77~84			
	水理計算	85~86			
	結果及び評価	85~91			
排水検討 2 ()	設計条件				
	水理計算				
	結果及び評価				
安定検討 1 ()	設計条件				
	安定計算				
	結果及び評価				
安定検討 2 ()	設計条件				
	安定計算				
	結果及び評価				
構造検討 1 (プレキャスト L型)	設計条件	101			
	構造計算	102~110			
	結果及び評価	101			
構造検討 2 ()	設計条件				
	構造計算				
	結果及び評価				
検討 1 ()	設計条件				
	結果及び評価				
検討 2 ()	設計条件				
	結果及び評価				

設計内容(要点)記載表 3.1 (設計計算書 2/2)

検討項目		内容		備考	照査
内容	詳細	報告書の該当ページ			
付帯施設の設計と 構造検討 該当なし	排水施設(側溝)				
	" (集水桝)				
	" (暗渠)				
	安全施設				
	落石防護施設				
	地すべり対策施設				
	防雪施設				
	待避施設				
	その他				
打合せ事項の反映 打合せ簿を添付し,その内容に該当する報告書のページを赤字で記入					

設計内容(要点)記載表 3.2 (詳細設計)

検討項目		内 容		備 考	照 査
内 容	詳 細	表示等の有無			
平面図	設計始終点の表示	有, 無			
	延長の表示	有, 無			
	大型構造物の表示	有, 無	大型構造物無し		
	付帯施設の表示	有, 無			
	工区名の表示	有, 無	2工区に区分		
	中心線移動の表示	有, 無	移動無し		
	K B Mと方位の表示	有, 無			
縦断図	付帯施設の引出し	有, 無			
	中心線移動の表示	有, 無			
	縦断曲線の表示	有, 無			
	縦断勾配の表示	有, 無			
	片勾配の表示	有, 無			
	拡巾の表示	有, 無			
横断・土工図	土工定規図の添付	有, 無			
	横断勾配の表示	有, 無			
	付帯施設の表示	有, 無			
	中心線移動の表示	有, 無	移動無し		
	用地境界の表示	有, 無			
構造図	構造寸法の表示	有, 無			
	配筋図	有, 無	プレキャスト製品で対応		
	鉄筋加工図	有, 無	"		
特記事項					

設計内容(要点)記載表 3.3 (数量計算 1/2)

検討項目		内 容					備考	照査
内 容	詳 細							
数量適用の基準		農林水産省, 国土交通省, 都道府県, 市町村, その他()						
数量構成	工区割と延長	1 工区 NO. 4+72.0 ~ NO. 4+72.0 L = 472.0 m						
		2 工区 NO. 16 ~ NO. 8+38.2 L = 366.2 m						
		工区 NO. ~ NO. L = m						
		工区 NO. ~ NO. L = m						
	数量計算の構成	1) 土工 2) 擁壁工 3) 境界工 4) 植樹帯工 5) 排水工 6) 安全施設工 7) 階段工 8) 取付道路工 9) 横断工 10) 排水路工 11) 付替道路工 12) 舗装工 13) 取壊し工 (例 1)土工 2)法面工)						
土工量 総括	項目 \ 工区	1 工区	2 工区	工区	工区			
	伐開 m ²	26,483.8	13,145.1					
	表土 m ²	31,674.3	18,666.2					
	切土 m ³	212,403.9	48,439.6					
	盛土 m ³	14,370.3	44,853.1					
	埋戻し m ³	785.1	682.9					
	残土 m ³	197,248.5	2,903.6					
	搬入土 m ³	-	-					
法面工 総括	切土面仕上 m ²	19,234.3	3,709.4					
	盛土面仕上 m ²	561.2	1,725.8					
	筋芝, 張芝, 吹付 m ²	-	-					
舗装工 総括	摩耗層工 m ²	-	-					
	表層工 m ²	4,885.4	3,791.6					
	基層工 m ²	4,885.4	3,791.6					
	上層路盤 m ²	4,875.7	3,791.6					
	下層路盤 m ²	4,875.7	3,791.6					
	路床改良工 m ²	-	-					

設計内容(要点)記載表 3.3 (数量計算 2/2)

検討項目		内容					備考	照査
内容	詳細							
附帯工 数量	項目 \ 工区	1 工区	2 工区	工区	工区			
	側溝工	m	1,019.4	803.3				
	擁壁工	m	588.7	180.5				
	安全施設工	m	62	433.3				
	暗渠工	m	273	248.8				
	集水柵工	ヶ所	22	54				
	落石防護工	m	-	-				
	特記事項							

設計内容(要点)記載表 3.4 (施工計画, 特記仕様書 2/2) 特記仕様書

検討項目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
総則	適用範囲	適用範囲は適切に表現されているか	適, 否	
工事内容	目的	内容は適切か	適, 否	
	工事場所	"	適, 否	
	工事概要	"	適, 否	
	工事数量	"	適, 否	
	工期	"	適, 否	
施工条件	工程制限	施工条件は示されているか	有, 無	
	部分引渡し	"	有, 無	
	その他	"	有, 無	
現場条件	土質	現場条件は示されているか	有, 無	
	関連工事	"	有, 無	
	その他	"	有, 無	
指定仮設	工事用道路	指定仮設は網羅されているか	有, 無	
	建設発生同家入れ値及び仮置場	"	有, 無	
	仮排水施設	"	有, 無	
	工事中の上載荷重(工事車輛)のチェック	"	有, 無	
工事用地等		工事用地の使用, 変遷等の記述はあるか	有, 無	
工事用材料	規格及び品質	工事と使用する主要材料の記述は適切か	適, 否	
施工	土工	必要事項の記述はなされているか	有, 無	
	舗装工	"	有, 無	
	排水工	"	有, 無	
	附帯工	"	有, 無	
	その他()	"	有, 無	

設計内容(要点)記載表 3.5 (設計報告書)

検討項目		内 容	備 考	照 査
内 容	詳 細			
標準様式(案)	設計業務報告書標準様式(案)に準拠か	Y, N 同案には農道工に関しては具体的記載はない。		
計算式	出典の記載	有, 無		
	解説は適正か	Y, N		
	計算過程の明確化	Y, N		
参考文献	出典の記載	有, 無		
成果品	成果品の様式・部数の確認	未, 完		
コスト縮減対策	具体的な提案がなされているか。	有, 無		
特記事項				